

発 1/17までに婦人会各組長さんまでお申し込みください。

・ハーブの会12月9日(月) 13時ZOOMで例会
・女子青年

12月4日(水) 紙刺繍作り 濱東分 18時半
◆青年会・献血担当… (㊟杉本真俊委員)
12月18日 献血呼びかけひのきしん 10時
献血ルームミューズよろしくお願いします。

◆広報庶務部・社友会… (㊟山口正洋委員)
・ふれあい折り込み1月は4組です。

◆時報手配り… (㊟澤田常和委員)
・12月手配りは月6・13日(13日が年内手配り最終) 拠点教会到着となります。

1月は10日より手配り開始です。元日号は直送となります。よろしくお願ひします。

◆少年会… (㊟小田木智嗣委員)
・静岡教区少年会総会 少年会員9名育成会員3名の参加。有難うございました。

◆学生担当… (㊟森田直晃委員)
ワーク&トークinおぢば 参加有難うございました。

◆12月 定例支部活動

◆合唱団アヴァンティー練習日
とき 12月4日・18日
立教188年1月8日・15日
会場 鴨江アートセンター(206号)

◆あらみち会… (㊟森田直晃委員)
日時 22日(日) 9時15分〜12時
会場 久努浜分教会
講話 木船嘉弘先生
本年最後のあらみち会。みんなで締めくくりましょう！
*会場が変更になりました。お間違えの無いようにお願いします。

◇定例委員会・例会

◆年頭会議… 西大濱分教会
とき 立教188年1月6日(月)
9時30分
当番委員 小楠友一委員
*支部内全教会が対象です。駐車場に限りがあります。乗り合わせての参加をお願いいたします。

◆青年会献血… ミューズ
とき 12月18日(水) 10時

◆婦人会… 西大濱分
とき 12月19日(木) お礼のおつとめ

◇各組活動

【1組】… 組長 鈴木 豊司(濱東)
〈配本・集金〉 12月28日(土) 濱東

〈合同会議〉 1月6日(月) 19時、濱東

〈ひのきしん〉 12月〜3月まで お休み

【2組】… 組長 渡邊英一郎(濱松)
〈配本・集金〉 1月6日(月) 午前中

【3組】… 組長 長田 虎夫(濱都)
〈配本・集金〉 12月29日(日) 10時、濱都

〈班長会議〉 月日() 時分 休会

〈ひのきしん〉 日時未定 曳馬

【4組】… 組長 谷口 和幸(四日市浜)
〈合同会議〉 1月9日(木) 9時30分 四日市浜

【5組】… 組長 古山 慶仁(濱宿)
〈配本・集金〉 12月28日(土) 9時30分 濱宿

【6組】… 組長 宮本 善成(長上)
〈合同会議〉 1月9日(木) 19時 東濱名

【7組】… 組長 太田 貴之(濱名)
〈組例会〉 1月9日(木) 10時 篠原

ふれあい

2024年
12月号
No.484
よもと会
西遠支部

このもとハとこをたづねてみたるとも
しりたるものハさらにあるまい
第八号―49

前会長の出直しに思う

5 組 組 長 古 山 慶 仁
(濱宿分教会長)



「じいじの呼吸が止まった、」それは正に晴天の霹靂でした。

心臓を患い、三か月に及ぶ入院を終え、退院する義父を嬉々と迎えに行く妻と息子を送り出し、夜勤明けで眠りについた矢先の電話でした。

すぐに飛び起き病院へ向かうとコロナ禍でもあり、自由に面会も出来ず久々の再会を楽しみにしていた妻がすっかり憔悴していました。

聞けば、看護師さんから荷物を受け取り本人が出て来る

のを待っていたところ、急にベッドに倒れ込み呼吸が止まったようでした。

この数年、心不全で入院を繰り返していた為、覚悟を極める時が来たかと思いましたが、妻はとて受け入れられない様子でした。

教会に戻り義父が事あるごとに言っていた

つとめさいちがはんよふに
なあなたなら
天のあたゑもちがう事なし

のおふでさきを思い出し、真剣

におつとめを勤めて神様におすがりしよう話し、家族揃って一心にお願いづとめをつとめました。

すると夕方、病院から電話があり「自発呼吸が戻った」との事。その時間が正に十二下りを勤め終えた頃のこと、家族一同、神様の自由自在のご守護に感謝したのでした。

三週間後、義父は家族に手を握られ眠るように安らかに出直しました。それはとても静かで穏やかな出直しでした。

あれから間もなく三年、月次祭のお勤めを、子や孫達が手伝う姿を見るたびに、義父の嬉しそうな顔を思い出します。

今、三年千日の只中、私は定めて「天理教」のハッピーを着てゴミ拾いをさせて頂き、その光景が、この地域で当たり前の見慣れた光景になるくらい勤めようと、日々、取り組んでいます。

ただのゴミ拾いですが、実際に多くの方が声を掛けて下さいます。この活動は年祭後も一生続けていくつもりです。

一人でも沢山の人に「天理教」を知ってもらい、本当にたすかるおつとめをつとめてくれる人が増えてくれる事を願って。

次の日から少しずつ意識を取り戻し、リモートながらこちらの呼びかけにも反応を示すようになりました。会話は出来なくても話しかけると頷いたり笑顔を見せてくれたり。今思えば、あの時間は別れが近づいている事を知らせる為に、神様がプレゼントしてくれたのではないかと

男と女の誕生 — その3

山本利雄先生 〈ラジオ講話〉

「いのち」 — 8

現在地球上に、約250万種の生物が混在できたのは、夫婦で子供を産む、すなわち有性生殖が始まったからなのです。原核細胞である、藻と細菌は、核がなくて、男女の性別がないので、有性生殖を行うことができません。だから、30数億年前に出現して以来、藻は藻を作るだけであり、細菌は細菌を作るだけ、すなわち自己複製を繰り返すだけで、20数億年間というものは、まことに味気ないものであります。それでは、細胞の中に核が出来て、男女の性別があつて、有性生殖を行うことができたのは、いったい、いつ頃のことなのでしょう。生命の起源と進化学会の人々は、このことに焦点を当てて、懸命に化石を探しました。

さて1967年、ビター・スプリングス・チャートという化石に、地球上最初の、有性生殖の確かな証拠を見つけたのです。その化石の年齢は、ちょうど今から約9億万年前の物なのです。私どもは、科学進化に続く、この20数億年という長い時代を、雌雄性進化、すなわち男女の性別のできた時代、とも呼んでいるのです。約20数億年間、泥の海の中では、藻と細菌が、ただその数を増すだけで、新しい種類の生物の

誕生は見当たりませんでした。このような状況を、自己複製、すなわち自分と同じ物を作るといふのです。ちょうどリコピーをするようなものです。たまには写し間違ふこともあつたでしょうが、そのような物は、たぶん生物として存在することが出来ず、消滅していったことでしょう。新しい生物の出現は、並大抵なことではなかつたようです。

現在の地球上には、約250万種の生物が存在すると言われています。その地球上で、今日までに絶滅してしまつた生物もたくさんあつたでしょう。ということは、この地球上に出現した生物の種類は、莫大な数になるでしょう。いったいどうしてこのような、いろいろな生物が作られたのでしょうか。リコピーの失敗、作り間違ひだけでは、とてもこんなに多くの種類の生物を作るとは、出来なかつたでしょう。

この生物の多様性に、重要な役割を果たしたのが、これから話を有性生殖、夫婦で子供を産むという働きなのです。ここで、有性生殖のしくみについて耳傾け

て下さい。

私ども哺乳動物といわれるものは、卵子に精子が受精することによって子供を作ります。母親の胎内に1個の受精卵が宿るのです。この受精卵が、どんな生物になるのかは、受精卵の核の中の染色体にすべて書かれてあります。これが、遺伝情報といわれているものです。

この遺伝情報は、どのようにして作られるのでしょうか？ 人間の場合について考えてみましょう。

人間の受精卵の核の中の染色体は、23組、46本で出来ています。同じ形の1組2本の染色体が、23足あるのです。大ききの違う靴下が、23足あると考えると下されば良いのです。この各靴下のどちらか片方は、精子が持ってきたもの、どちらか片方は卵子が持ってきたものなのです。すなわち23足の靴下の片方ずつを、精子と卵子が持ち寄つて、ここに新しい23組の靴下を作つたのです。

子供の遺伝情報は、半分は父親、半分は母親から貰つたものです。だから、親に似た子供が生まれるのです。 【続く】

支部だより

立教 187年 R6.12 NO.590

◆表統領挨拶

今年も残り1ヶ月となりました。学生担当者大会がありました。真柱様から直接お言葉をいただくのは10年ぶりだそうです。非常に熱のこもつたメッセージを代読させていただきました。学生に限らず若い人を育てることは大切であり、そのためには自分達がしっかりと育つ努力をしてその姿勢を示すこと、また気持ちを伝えることで、どちらも育つことだと思います。学生は学生の立場で育つこと。我々のような年代の者はその年代として育つ。これは当然中身も違ふわけですが、「育つ」という一言で括るならば共に育つことだと聞かせていただきました。出直すまでずっと成人することを頭に置きながら、年を取っていかなくてはならないと思います。私達は道の後継者を育てようとする時、立場を持つとその責任の上から、こうしなければならぬ、こうするべきだということが最初に頭に浮かんできます。すると、すべきことが先に立つて、方法論が頭をよぎります。便利な方に、これが早道だ、こちらが伝わりやすい、この方が大勢の人が参加してくれる、という方向へ考え方が寄つてしまいがちです。これは私達だけではなく、青年会など比較的

若い人達もそのような傾向があると思います。方法論、昔のように声をかけたら反応があるような時代と今は状況が変わつてきています。つまり、昔のように強制的にはいかなないことかもしれないませんが、その前提でとにかく声をかければ反応があり、そこからやっていけば良いということ。しかし、それで先のことと考へた時に果たして本当に良いのだろうか。教祖の教えがまつすぐ伝わっていくのだろうか。或いは繋げていけるように最後まで責任を持つているのだろうか。育てるためには責任を最後まで持つという決意を確認しなければならぬことを、今日のお言葉の中に感じさせていただきました。年祭まであと1年となりました。いつも申していますが、とにかく今出来ることを精一杯しましょう。手段として結果を求めようと安易にせず、どこまでも一生懸命させてもらうことによつて、神様から御守護いただく世界なのだとということとを忘れないようにしなければならぬと、改めて感じさせていだいた次第であります。この時期でもあるので、もちろん結果を求めていかなければなりません。その一方で、今申し上げた部分をしっかりと抑えてもらい、皆様方にご理解いただけるよう、しんどいことをさせてもらうことを厭われないようにしなければならぬと思います。来年が仕上げの年らしくなるよう頑張つてつとめさせていただきます。 【続き】

◆支部事項

◆支部部…………… (◎長田虎夫委員)

◆支部部…………… (◎吉岡弘和委員)

◆教務部…………… (◎木船嘉弘委員)

◆婦人会…………… (◎木船真澄委員)

◆婦人会例会 12月19日(木) 10時
一年のお礼つとめ 会場 西大濱分
持ち物 ハッピー バス ⑫ポール61
野台行き 9時25分発 元目町 下車
初例会のご案内

とき 立教188年1月30日(木) 11時
場所 「あらたま庵」(浜名区平口224-1)
参加費 2000円 送迎レイン10時20分